

肝臓の免疫といえば、研究が「進んでいない」「進歩が遅い」というのが定説であった。もっとも、それらは「難しくて解らない」という気持ちが半ば言わせている言葉でもあった。

今、肝臓と免疫はホットな領域になってきている。自己免疫性肝疾患についても、次第に発症機序が解明されてきているし、新薬の開発も行われている。B型肝炎についても、免疫は、この奇天烈な肝炎ウイルスと戦うために必須のツールになっている。20年ほど前に、B型肝炎免疫研究の第一人者であった米国 The Scripps Research Institute の Dr. Francis Chisari が、B型肝炎ウイルスの国際会議で「B型肝炎の免疫学的研究は分子生物学的研究に比べて、残念ながら遅れている」と認めたときには、聴衆は驚きをもって受け入れたものであったが、もはや、そんなセリフを聞く時代ではなくなってきている。

肝臓でもっとも免疫が脚光を浴びているのは、やはり癌の領域であろう。肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の開発も佳境に入っている。阻害薬単独では効果が限定的かもしれないが、分子標的薬や肝動脈塞栓術などの他の肝癌治療との併用治療に大きな期待がもたれている。

また、小児白血病で高い抗腫瘍効果を示した CAR-T についても、肝細胞癌にそのまま適用はできないものの、腫瘍関連エピトープの同定により遺伝子改変 T 細胞を作成して肝細胞癌の治療に用いる試みがなされている。

本特集では、肝臓と免疫の最新の情報を、お忙しい先生方にご執筆いただいた。この場を借りて、篤く御礼申し上げます。

(小池和彦)

臨牀 消化器内科® Vol. 34 No. 5

©2019 年 4 月 20 日発行

定価(本体 3,000 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019. Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版者>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791